

交野古文化同好会 特別企画バスツアー 継体天皇のふるさとを訪ねる

『日本書紀』によると、子供のいない武烈天皇が死ぬと皇位継承者が絶えそうになりました。そこで大連の大伴金村らが候補者を捜し、白羽の矢を立てたのが越前三国にいた男大迹（おほと）王でした。王は応神天皇の5世孫で、父は彦主人王、母は垂仁天皇の7世孫振媛です。

振媛は三国の坂中井から、彦主人王により近江の三尾の別業に迎えられ、王を産みましたが、夫の死後、子連れて高向に戻って来ました。そして507年、男大迹王が57才の時、金村らが迎えに来たのです。王は樟葉宮に至り即位し、前代以来の大連大伴金村・物部麁鹿火、大臣許勢男人を再任し、仁賢天皇の娘手白香皇女を皇后としました。

その後、山背の筒城（綴喜）宮・弟国（乙訓）宮と転々とした後、526年によく大和の磐余の玉穂に都を定めたといひます。

さあ！ゆっくりと継体天皇のゆかりの地を歩きましょう！

行程 交野8時30分出発＝交野北IC＝栗東IC＝琵琶湖博物館＝琵琶湖大橋
＝白鬚神社＝高島歴史民俗資料館＝昼食＝鴨稻荷山古墳・継体天皇ゆかりの神社・
史跡・古跡を散策＝藤樹道の駅＝京都東IC＝交野北IC＝交野市午後5時頃解散

- ◆日時 5月12日（土）（雨天決行） ※弁当持参
- ◆募集人員 50名（定員に達し次第締め切り）
※参加者が40名に達しない場合は中止。
- ◆参加費 会員 5,000円 一般 5,500円（当日徴収します）
- ◆集合・出発場所 午前8時30分（時間厳守）焼肉久太郎駐車場
- ◆案内人 白井忠雄 館長（高島歴史民俗資料館）
- ◆参加申し込み受付 3月24日～4月30日まで
事務局・村田氏 電話 892-2326
参加取り消しの方は早急に連絡ください！

4百万年にわたる生物進化の
歴史を秘めた琵琶湖



琵琶湖が動いて
いるって本当？



白鬚神社の鳥居

鴨稻荷山古墳

鴨川右岸に広がる沖積地に位置する古墳です。古墳時代後期のもので、湖西地方では平野部に立地する唯一の前方後円墳です。現在は前方部の墳丘がありませんが、周辺の地形などから、全長 45m・後円部の直径 25m・高さ 5m ほどの周濠をめぐらせた前方後円墳であったと考えられています。

明治時代に、後円部から横穴式石室と刳抜（くりぬ）き式家形（いえかた）石棺が掘り出されました。

また、石棺内から、金銅冠（こんどうかん）・沓（くつ）・魚佩（ぎょはい）・金製耳飾・鏡・玉類・環頭大刀（かんとうち）・鹿装大刀（ろくそうたち）・刀子（とうす）・鉄斧（てつぷ）などの象豪華絢爛な副葬品が発見されました。のちに、これらの副葬品は、朝鮮半島の新羅王陵の出土品とよく似ていることがわかり、この古墳の被葬者や場所と大陸との交流関連について、様々な興味と話題を呼んでいます。



金銅製飾履（複製）



金銅製王冠（複製）



鴨稻荷山古墳の石棺



垂飾付耳飾（模造）



写真展示

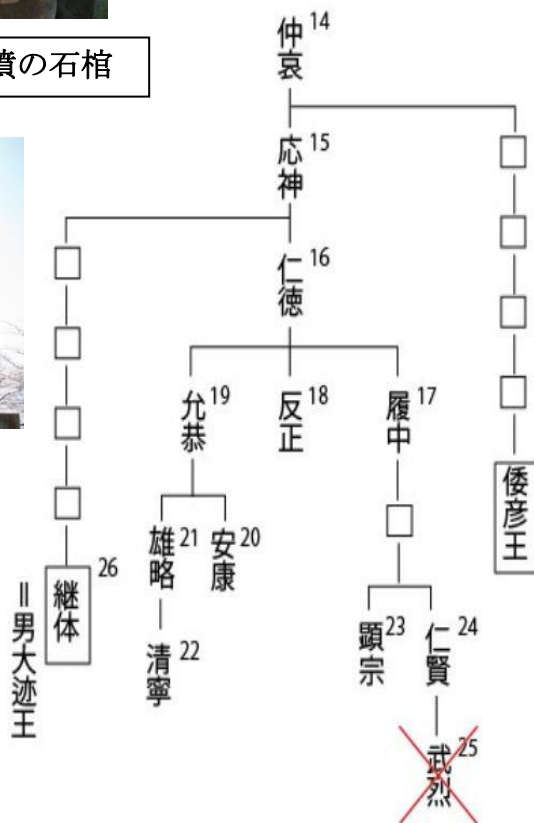


鉄地金銅張杏葉（ぎょうよう）

（鴨稻荷山古墳出土品の豪華な副葬品の数々）



継体天皇系図



田中王塚古墳参道

礼拝所までは、苔むした参道。横に細い道がある